

平成30年度「学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解(心のバリアフリー)の推進事業」事業実施報告書

学校名	(リーダー校) ひびきの小学校 (交流校) 小池特別支援学校
-----	-----------------------------------

## I 概要

### 1 事業の概要

- 「風船バレーボール」を介した4年生との交流及び共同学習の実施
- 「風船バレーボール」を介した近接特別支援学校の5、6年生の児童との交流
- 北九州発祥の障害者スポーツ「風船バレーボール」の普及

### 2 事業の成果

昨年度、開校1年目は6年生と交流を行ったが、今年度は4年生との交流活動に変更し、国語の「手と心で読む」や総合的な学習の時間「心と心でつなぐ」と関連づけて取り組んだ。「障害者スポーツ」については、4年生のほとんどの児童が初めての体験だったので、興味・関心をまずもってもらうため、オリンピックやパラリンピック、障害者スポーツについて紹介・説明を行った。風船バレーボールに取り組む際には、「風船バレーボールの基本ルールについて」のビデオを作成し、事前に学級で視聴してから体験できるようにした。初めて体験する4年生が風船バレーボールにすぐに馴染み、楽しんで競技に取り組むことができた。

また、特別支援学級児童の自己紹介ビデオを作り、事前に各学級で視聴しておくことで児童の様子について知り、よりスムーズに交流を始めることができた。

特別支援学校との交流は、昨年度に引き続いての交流で顔見知りになった児童もいて仲良く活動する姿も見られた。

### 3 事業の課題とその解決のために必要な取組

ひびきの小学校開校2年目となり、立ち上げの忙しさも一段落し、事業2年目の今年度は昨年度の反省を生かしてスタートできた。新年度からすぐに特別支援学校と連絡・調整をして計画を立てて取り組むことができた。また、4年生との交流も他教科と関連づけながら、年間計画に位置づけて取り組むことができた。

しかし、1学年5クラスあり、各通常学級と特別支援学級が交流を行うことは、時間数的にも児童にとっても負担が大きかった。来年度は更に1学年6学級になるので、各通常学級と風船バレーボールの交流を行うことが、特別支援学級児童に負担にならないように計画しなければならない。学期毎に分けて取り組むなどを検討したい。ポッチャの体験活動も同様に、5学級全学級との交流は難しく、特別支援学級から交流に行っている児童の学級のみと交流を行った。特別支援学級のみで計画するのではなく、4年生の学年の中でしっかり計画を立ておき、取り組めるようにしたい。

特別支援学校と特別支援学級の交流は取り組みやすかったが、特別支援学校について通常学級の児童に啓発したり、直接児童同士の交流を計画したりすることはできなかった。地域にある特別支援学校の様子をビデオで紹介するなどができればと考える。

## Ⅱ 詳細報告

### 1. 対象校（リーダー校及び交流校）の概要

#### (1) 対象校の概要（平成31年2月28日現在）

学校名	児童数	教職員数
ひびきの小学校	1150	55

特別支援学級の対象としている障害種：知的(1学級)、自閉症・情緒(1学級)

学校名	児童生徒数			教職員数
小池特別支援学校	小学部	中学部	高等部	89
	56	31	31	

#### (2) 対象校の特色（特別支援教育に関する事項）

##### ○ひびきの小学校

北九州市における15年ぶりの新設校として、平成29年4月8日に開校。「学校」と「市民センター」、「児童クラブ」との施設一体型の校舎である。地域の方々と心がひびき合う、異学年の友達とひびき合う、地域が一つのコミュニティとして機能できるような学校をめざす。特別支援学級（知的1学級、自閉症・情緒1学級）。近接の小池特別支援学校のセンター的機能を活用し、支援が必要と思われる児童について担任への助言や保護者からの相談支援を行っている。

##### ○小池特別支援学校

小池学園を併設している知的障害特別支援学校である。小学部1, 2, 3, 4年生は江川小学校と年2回、中学部は浅川中学校と、高等部は北筑高等学校と学校間交流を行っている。また、特別支援教育コーディネーターが在籍し、通常学級への支援を行っている。

### 2. 対象校での障害者スポーツや文化・芸術活動を通じた交流及び共同学習の取組内容

#### (1) 「あおぞら自己紹介」「風船バレーボールについて」ビデオをみよう

日時：7月2日（月）～6日（金）の週 給食時間など

場所：4年生各学級の教室

内容：

- ① 「あおぞら学級自己紹介ビデオ」を視聴する
- ② 「風船バレーボールについて」のビデオを視聴する
- ③ 風船バレーボールの基本ルールを知る

・全員が触る ・10回以内に返す ・2回連続は打てない。 ※チームワークが大切



あおぞら学級自己紹介ビデオ



風船バレーボールについて

## (2) 4年生と風船バレーボール交流をしよう

日時：7月9日(月)～13日(金)の週 4年生5学級と

場所：ひびきの小学校 体育館

内容：プログラム

- ①あおぞら学級 自己紹介
- ②オリンピック・パラリンピック・障害者スポーツについて紹介
- ③風船バレーボールについて紹介
- ④6つのグループごとに輪になって座り、4年生があおぞら児童へ自己紹介
- ⑤輪になってパスの練習
- ⑥ネットをつかって練習試合
- ⑦感想発表



練習試合



パラリンピックの説明

## (3) 小池特別支援学校と風船バレーボール交流をしよう

日時10月5日(月)

場所：ひびきの小学校 体育館 プレイルームなど

内容：プログラム

[2校時] (4年生の代表学級が応援に来る)

- ①はじめのあいさつ・めあて
- ②あおぞら学級 自己紹介
- ③小池特別支援学校5・6年生 自己紹介
- ④ラジオ体操
- ⑤グループに分かれて輪になって練習
- ⑥ネットをつかって練習試合(前半5分-交代-後半5分)
- ⑦感想発表

[3校時]

- ⑧みんなで遊ぼう(前半と後半で交代)  
Aチームはプレイルーム  
Bチームは運動場遊具・砂場など(雨の場合は図書室)
- ⑨おわりのあいさつ



風船バレーボールの様子



終わりの会 インタビュー

**(4) あおぞら学級のみんなへ風船バレーボール応援旗をつくっておくろう**

日時：10月

場所：4年生各教室

内容：若松区の知的特別支援学級が集まって行われる「合同スポーツ大会風船バレーボール大会」に出場するあおぞら学級のみんなへ応援旗をつくっておくろうと提案。学級のアイデアを生かして作成し、あおぞら学級児童へおくる。



応援旗 贈呈式



合同スポーツ大会で応援旗を掲示

**(5) 小池特別支援学校で風船バレー交流をしよう**

日時 12月5日(水)

場所：小池特別支援学校 体育館

内容：プログラム

- |  |
|--|
| <p>[2校時]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①はじめのあいさつ・めあて</li> <li>②ラジオ体操</li> <li>③グループに分かれて輪になって練習</li> <li>④ネットをつかって練習試合（前半5分－交代－後半5分）</li> <li>④ 感想発表</li> </ul> <p>[3校時]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥みんなで遊ぼう（4チームに分かれて）<br/>フライングディスク、鬼にボール当てなど</li> <li>⑦終わりのあいさつ</li> </ul> |
|--|



はじめの会



オニあてゲーム

### (6) ボッチャを体験しよう

日時：2月25日(月)

場所：ひびきの小学校 体育館

内容：プログラム

- ①ビデオ「ボッチャって何だろう？」を振り返り（事前に各学級で視聴）
- ②基本ルールの確認
- ③ボールをさわってみよう
- ④チームに分かれて自己紹介、作戦タイム
- ⑤練習試合
- ⑥試合（4チームに分かれて）
- ⑦感想発表



練習試合



感想発表

### (児童の感想)

○あおぞらの友達と風船バレーやボッチャができてうれしかったです。その中でも、グループで輪になって自己紹介したり、作戦を考えてアドバイスをしたりするが私はとてもいいなと思いました。他のスポーツもやってみたいです。

○チームでのスポーツやゲームなど、何をするのもチームワークが大事だなと思いました。あおぞら学級の友達はボッチャがうまかったです。また、ボッチャや風船バレーがしたいです。

○あおぞら学級の友達とは仲良くなりたと思っていたので、風船バレーやボッチャをして仲を深めることができたので良かったです。これからもあおぞらの友達に会ったら声をかけてみたいです。

○風船バレーもボッチャは初めての体験であおぞら学級の友達ととても仲良くなれたと思います。特にボッチャでは、「これチャンスじゃない？」とか「ナイス！」など応援し合っていたの

間にか仲良くなってうれしかったです。

○2回の交流会で、あおぞら学級の友達と少し話すことができたのでうれしかったです。しょうがいを持つ人でも楽しめるスポーツをぼくも見つけたいです。

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

○4年生の各学級と一緒に交流しふれあうことで、特別支援学級児童が交流に行っていない学級の児童も特別支援学級の児童に話かけたり、一緒に休み時間に遊んだりするなど、心を通わせる様子が見られた。

○4年生の国語「手と心で読む」や総合的な学習の時間と関連づけて本事業を行うことで、特別支援学級の児童の様子や障害がある人の生活に目を向け、同じ仲間として自分ができることを考えるきっかけづくりになった。

○風船バレーボールやボッチャについてビデオを視聴したり一緒に体験したりする活動を通して、障害者スポーツやパラリンピック競技について興味を持ち、インターネットなどで実際に調べた児童も見られた。

#### 【課題】

○児童数も学級数も多いので、通常学級との交流活動を5回も行うことが特別支援学級児童にとって負担が大きかった。負担にならないように学期毎に行うなどの検討が必要である。

○特別支援学校と特別支援学級の交流は取り組みやすかったが、特別支援学校について通常学級の児童に啓発したり、直接児童同士の交流を計画したりすることはできなかった。地域にある特別支援学校の様子をビデオで紹介するなどができればと考える。

### 4. 普及活動実績

普及活動実施名	参加（校・人数）／配付枚数
・学校ホームページ ・4年生学年だより	学校ホームページでの紹介 5学級

#### 【普及状況・今後の展望】

##### （普及状況）

本校4年生との交流会、小池特別支援学校との交流会、若松区知的特別支援学級合同スポーツ大会、洞北中学校区近接4校なかよし交流会などで行っている。

##### （今後の展望）

時間に余裕があれば他の学年や保護者とも、多様な他者理解をしながら共に活動していく楽しさが味わえるような風船バレーボール活動を計画したい。